

学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子

- ・自ら学ぶ意欲 … 主体性・継続力（自分の目標を自分で決め、進んで学ぼうとする）
- ・豊かな人間性 … 人権感覚・仲間意識・社会性（人間関係の多様性を認め、つながることができる）
- ・たくましく生きる…自己実現・将来展望・行動力（自尊感情を高め、自己実現を可能にする）

＜目指す子ども像＞

○すすんで学習する子（研究部）

○かぎりなくやさしい子（人権教育推進部）

○だれとでもつながる子（生徒指導部）

○しなやかで元気な子（保健安全部）

授業で力をつける

- ・対話が生まれる授業の実践
- ・生徒指導の三機能「自己決定の場」を意識カリキュラムマネジメント
- 家庭学習の充実
- キャリア教育
- GIGA スクール構想の推進

確かな人権感覚を育む

- ・人権教育
- ・支援の必要な子どもへの関わり
- ・特別の教科 道徳
- 多様性へのアプローチ
- ・LGBTQ
- ・異文化交流

文部科学省
人権教育研究指定校

自己指導能力の育成

- ・藤ノ森スタンダード
- 縦横のつながり
- ・たてわり活動・ピアサポート
- ・6年生がめざすモデルに
- ・学年経営

体育科の授業の充実

- ・生涯体育をめざした授業づくり
- ・保健の学びを実践に
- 保健指導の充実
- ・体、心の健康
- 安全指導の充実
- ・危機管理、非常事態への対応準備

＜目指す教職員像＞

子どもの未来を切り開く教職員
進化する教育の実践者

- 子どもの手本（言動と行動）となる教職員
- 学び続ける教職員
- 想像力豊かな教職員
- 組織・社会の一員として「つながる」教職員
- セルフマネジメントできる教職員

＜目指す学校像＞

子どもを育てる具体的な取組がある学校

- 全教育活動が「研究」「研鑽」の場
- 児童・教職員共に人権感覚と社会性の育成の場
- 家庭・地域と協働する
「コミュニティースクール」としての場

【今年度の藤ノ森教育の重点】

- ◎授業改善…授業こそ学校教育の核。すべてのエネルギーのベクトルは授業に向かう。
- ◎キーワード「きめる」を意識した取組
- 子どもの自主性・主体性・積極性を育てる。
- 保護者・地域とのさらなる連携を図る。
- すべての教育活動で「めあて」「ふりかえり」「改善」
- 子どもの手本となる大人に（言葉、みだしなみ、時間・約束を守る）
- 子ども、保護者の思いを十分に聞く。

資質

思考力

能力

「きめる」を意識する

コミュニケーション能力

自己決定力